



大日本樹木誌草稿類

編纂趣意書・題言・例言・目錄等

服部文庫  
417  
2170  
1





117 特  
2170  
1



卿  
天久保

輔  
友

書記官

松田

地理局長

櫻井

御印

服部文庫  
117  
1894  
2

本邦樹木ノ書無之ニハ無御座候得共従前林政ノ不整ナリシヲ  
以テ未タ完全ナルモノ無之候之ニ由テ人民ハ唯松柏栗樅等ヲ種  
トヨ知リテ其他ノ樹木ニ至テハ其植付法ヲ知ラサルノミナラス其名スラ  
之ヲ知ラサルモ有之ニ至リ申候此弊ヲ洗除スルハ人民ヲシテ樹木ノ名称  
形状切用種藝ノ法ヲ知ラシムルヨリ急ナルハ莫シ依テ昨年来本局ニ  
テ編製為仕置候日本樹木誌ヲ校正板行仕度奉存候尤其體  
裁ハ紙尾へ添ハタル通取計候積ニ御座候



日本樹木誌

凡例

一我邦古未樹木ニ関スルノ書甚タ少ク偶其書アリト雖モ唯  
醫家農家及種樹家ノ用ニ供スルモノニシテ嘗テ有用木材ノ  
事ヲ專説セル者ナシ而ルニ近未工業大ニ興ケ用材ノ事ニ急  
ナルカ故ニ此樹木誌ニ在テハ主トシテ用材ノ事ヲ説キ尙ラ醫  
家農家若クハ其他ノ事項ニ及スモノトス

一泰西植物学者多ク植物学ヲ分テ辨物本草生理本草分理  
本草地理本草前世本世界本草ノ五部トナシ「イシユウ」氏ハ植物  
自然分科ノ説ヲ唱ヘ大別シテ無子葉單子葉雙子葉ノ三  
種トナシ「~~...~~」氏ハ別シテ十五種トナシ又之ヲ細別シテ一百科ト  
ナシ「~~...~~」氏ハ更ニ一説ヲ立テ植物ヲ分テ八部一百九十  
四科トナセリ然レモ其説高尚其論奧微ニシテ一朝夕ノ説キ盡



スヘキニアラス且マ此編ハ植物中ニ於テ本局掌管スル樹木ヲ誌シ  
民間ニ頒布スルヲ主トスルカ故ニ三氏ノ例ニ沿就セス有用ノ  
木材ヨリ記列スヘシ

一 毎樹番號ヲ記スル者ハ目錄ニ對照スルノ用ニ供スルナリ

一 提要ヲ記スル者ハ其樹木ノ大要ヲ一目ニ概知スルニ便スルナリ

一 提要中ニ諸用ト書スルモノハ船艦建築ノ大ヨリ器具薪炭

ノ小ニ至ルマテ諸般ノ用ニ供スヘキモノヲ曰ヒ

書スルモノハ特ニ某ノ用ニ供スヘクシテ他ノ用ニ適セサル者ヲ曰フ

即チ松栢ノ類是ナリ

一 通名ト称スル者ハ全國普通ノ名称ニシテ方名ト称スル者ハ

全國ニ通セスト蚕モ他ノ一方ニ專ラ喚呼スルノ名称ナリ

一 西人「ドレ」氏ハ樹形ヲ分テ十一トナシ一ヲ根トナシ二ヲ幹トナシ

三ヲ萌芽トナシ四ヲ葉トナシ五ヲ花トナシ六ヲ莖芽トナシ七ヲ花

冠トナシハヲ雄莖トナシ九ヲ雌莖トナシ十ヲ果トナシ十一ヲ種子  
トナス然レモ此編ハ更枝ヲ加テ萌芽ヲ其中ニ籠シ花冠及雌  
雄莖ヲ花ノ中ニ加ヘ果ト種子ヲ合セテ實トナス蓋シ主トスル  
所既ニ異ナルカ故ニ其記列ノ體モ亦隨テ異ナラサルヲ得サル  
ナリ

一 根ニ兩種アリ地中ニ直芽スル者之ヲ豎根トイヒ又命根トイフ

今直根ト称ス地中ニ横行スル者之ヲ横根トイヒ又旁根トイフ

今斜根ト称ス

一 實植トイヒ苗植トイフ其実に皆實植ナリ然レモ水実ヲ播キ

再ヒ移動セザル者之ヲ實植トイヒ水実ヲ播キ新苗ヲ作り

更ニ別所ニ移植スル者之ヲ苗植トイフ

一 樹枝ヲ剪テ土中ニオミ之ヲシテ根ヲ生セシムル之ヲ

挿條トイヒ其根既ニ生シテ移甲樹ノ嫩枝ヲ剪リ乙樹ノ砧ニ嫁接シ



乙樹 砧ヲシテ甲樹ノ枝ヲ養ハシムル之ヲ嫁接トイヒトエヲ用テ  
 樹枝ヲ復ヒ根ヲ生セシムル之ヲ過貼トイフ其詳ナルハ本局  
 森林報告ニ記スル故ニ此ニ贅ス

日本樹木誌題言

皇國ニ樹木誌ナシ全ク無キニ非ス其之アルハ醫家農家及花  
 戸ノ編スル所ニ係ル故ニ多クハ藥性主治ヲ主トシ或ハ花木ヲ主  
 トシテ救荒ニ傍及スルハ花戸ノ如キニ至テハ唯花葉觀美ヲ  
 之ニ勤ム其形質功用ニ至テハ藥性主治ヲ主トシ或ハ花木ヲ主  
 フ説クアルモ要スルニ漢名ノ當否ヲ徵スルニ過サルノミ昔舊政  
 府ノ施治ニ於ル亦林政ナキニアラスト雖其保護維持スル所ハ  
 松柏樟檉杉榿數品ニ過キス他ハ槩シテ下草ト稱シ人民ノ薪  
 樵ニ從カス是ハ山功ノ大ナル者ト雖人民之ヲ知ラサル者アルニ  
 至ル其全誌ナキハ政體之ヲシテ然ラシムルナリ維新以來勉メテ  
 旧弊ヲ洗除スルヤ林政ノ整治セサルヘカラサルヲ知ル其施為漸ク  
 將ニ開張セントス而シテ森林ノ國家富強上ニ於テ大關係アル  
 ハ業ニ已ニ之ヲ報告セリ樹木豈忍焉トシテ之ヲ不問ニ置クヘケ

服部文庫

117  
 1894  
 1

117. 1894 (1)

117. 1894 (2)



ニヤ本局ノ樹木誌ヲ編修スル所以ナリ既ニ之ヲ編修スルヤ固ヨ  
リ詳悉ニシテ曲盡セサルヘカラス然レモ植物ノ學タル亦専門  
ノ一部ニシテ該博ナラストセス乃形状性質<sup>ト</sup>之ヲ實物ニ驗  
シ培養保護必ス之ヲ實地ニ踐テ而後始メテ詳悉曲盡スルヲ  
得ヘシ況ヤ喬大肥瘦地ヲ以テ宜ヲ異ニシ疎密榮瘁時ニ因テ  
觀ヲ殊ニス何ソ勿ミ之ヲ言フヘケンヤ今林政ヲ整張スル日猶淺シ  
未之ヲ遍驗極試スルハ鮮ハスト雖比年以來官吏ノ林政ニ從事  
スル足跡殆ト諸縣ニ遍カラントス是ニ於テ其目撃スル所ヲ取テ  
或ハ之ヲ土人ニ質シ或ハ之ヲ古籍ニ徵シテ以テ編トナス主トスル所材  
質功用ニ在リ花実ノ如キ未詳ナラサル者ハ姑ク闕テ以テ識者ヲ諒ツ  
他日議論漸<sup>ニ</sup>定<sup>リ</sup>驗試周遍シテ集メテ大成スルニ至テハ國家  
ニ裨補スル<sup>所</sup>豈少ミナラシヤ是レ本局ノ之ヲ冀望スル所ナリ

日本樹木誌例言



一本邦ニ樹木誌ナシ全無ニアラス其之アルハ醫家農家及花  
戸<sup>ノ</sup>編<sup>スル</sup>所ニ係ル故ニ多ク藥性主治ヲ主トシ或ハ四木ヲ主

トシテ救荒ニ傍及ス花戸ノ如キニ至テハ唯花葉觀美ヲ之レ  
務ルノミ其材質功用ニ至テハ一ニ交渉ナキ者ノ如ク或ハ一  
ニ其形状ヲ説クモ要スルニ漢名ノ當否ヲ徵スルニ過キス迄  
来工業大ニ關ケ用材ノ最急ナルヲ知ル故ニ樹木誌ヲ撰  
ミ主トシテ材質功用ヲ説キ以テ醫家農家ノ説ニ及ハ  
シトス

一泰西植學家其學ヲ分テ五部ト為ス曰ク辨物本草生  
理本草分理本草地理本草前世世界本草「イシエウ」氏  
ハ植物自然分科ノ説ヲ唱ヘ大別シテ無子葉單子葉雙  
子葉ノ三種トナシ更ニ之ヲ小別シテ十五種トナシ又之ヲ



以テ披閱ニ便スル

- 一 細別シテ一百科トナスデカンドルレ氏ハ別ニ一説ヲ立テ植物ヲ分テ八部一百九十四科トナセリ是ニ於テ植物ノ別終リ云シ今此編タルヤ植物中ニ就テ本局掌管スル所ノ樹木ヲ誌シテ民間ニ頒布シ其材用ノ愛惜セサルヘカラサル其培養ノ注意セサルヘカラサルヲ知ラシムルヲ主トシ以テ也ノ樹木ニ及ハントス故ニ諸家ノ例ニ沿襲セス有用ノ木材カ為ナリ
- 一 提要ハ其樹木ノ大要ヲ一目シテ察知スルニ便スルナリ
- 一 提要中其用ヲ掲クル者ハ其功用中ニ就テ最其用ニ適スルヲ云フナラ種ニ類諸用ト書スル者ハ船艦建築ノ大ヨリ器物薪炭ノ小ニ至ルエテ皆用ユヘキナラ云フ扁柏黒松ノ類

苗ノ必ス移植スヘキ

- 一 名稱中通名ト称スル者ハ普通ノ称呼方名ト称スル者ハ一國一邑ノ称呼ニシテ即方言ナリ方名極メテ多シ其一ニヲ載ス漢名詳カナラ
- ル所ノ字面ナリ舊某ト書スル者ハ昔人某ノ字面ヲ用ヒテ妥當ナラサルモノナリ
- 一 形状ノ區別西人リンドレ氏ハ樹形ヲ分テ十一トシ一ヲ根ニヲ幹三ヲ萌芽四ヲ葉五ヲ花六ヲ莖七ヲ花冠八ヲ雄蕊九ヲ雌蕊十ヲ果十一ヲ種子トス此編枝ヲ加ヘテ萌芽ヲ葉中ニ寓シ花冠及雌雄蕊ハ花ニ併セ果種子ヲ合シテ實トナス全体ト共ニ七部トス是レ主トスル所既ニ異ナルカ故ニ記列ノ體同シキヲヲ得サレハナリ
- 一 實植ト云ヒ苗植ト云フ其實ハ皆下種シテ生スルモノナリ但生シテ後移植セサル者ヲ實植トシ生シテ後移植スル者ヲ苗

務 百



細別シテ一百科トナスデカンドルレ氏ハ別ニ一説ヲ立テ植  
物ヲ分テ八部一百九十四科トナセリ是ニ於テ植物ノ別  
尽テリ云今此編タルヤ植物中ニ就テ本局掌管スル所  
樹木ヲ誌シテ民間ニ頒布シ其材用ノ愛惜セサルヘカラサ  
ル其培養ノ注意セサルヘカラサルヲ知ラシムルヲ主トシ以テ  
他ノ樹木ニ及ハントス故ニ諸家ノ例ニ沿襲セス有用ノ木材  
ヲ舉テ之ヲ首ニ置クノミ

一 毎樹番號ヲ記スル者ハ木ニ順序アルニ非ス目錄ニ對照スルノ  
カ為ナリ

一 提要ハ其樹木ノ大要ヲ一目シテ稟知スルニ便スルナリ

一 提要中其用ヲ掲クル者ハ其功用中ニ就テ最其用ニ適スル  
ヲ云フ ナラ種ニ類  
炭類諸用ト書スル者ハ船艦建築ノ大ヨリ器物薪  
炭ノ小ニ至ルエテ皆用ユキナラフ云フ 扁柏黒松  
ノ類

一 名稱中通名ト称スル者ハ普通ノ称呼方名ト称スル者ハ一  
國一邑ノ称呼ニシテ即方言ナリ 方名極メテ多シ  
其一ニヲ載ス漢名詳カナラ  
サル者ハ關テ録セス漢名ノ傍ニ俗名ト細書スルモノハ俗間用  
ル所ノ字面ナリ舊某ト書スル者ハ昔人某ノ字面ヲ用ヒテ  
妥當ナラサルモノナリ

一 形状ノ區別西人リンドレ氏ハ樹形ヲ分テ十一トシ一ヲ根ニヲ  
幹ニヲ萌芽四ヲ葉五ヲ花六ヲ莖七ヲ花冠八ヲ雄蕊九ヲ雌  
蕊十ヲ果十一ヲ種子トス此編枝ヲ加ヘテ萌芽ヲ葉中ニ寓シ  
花冠及雌雄蕊ハ花ニ併セ果種子ヲ合シテ實トナス全体ト共ニ  
七部トス是レ主トスル所既ニ異ナルカ故ニ記列ノ體同シキヲヲ  
得サレハナリ

一 實植ト云ヒ苗植ト云フ其實ハ皆下種シテ生スルモノナリ但  
生シテ後移植セサル者ヲ實植トシ生シテ後移植スル者ヲ苗



植ト云フ

根傍ノ小本ヲ分植スル  
モノ亦苗植ノ下ニ併載ス

一 樹枝ヲ剪テ土中ニ插ミ之ヲシテ根ヲ生セシムル之ヲ櫃條ト

云 又櫃插其根生シテ後  
移植スルヲ櫃苗ト云フ 甲樹ノ嫩枝ヲ剪リ乙樹ノ砧ニ嫁接シ乙

樹ノ砧ヲシテ甲樹ノ枝ヲ養ハシムル之ヲ嫁接ト云フ 又接  
換 土ヲ

用テ樹枝ヲ封シ根ヲ生セシムル之ヲ壓條ト云フ 甲樹ノ枝ヲ以

テ乙樹ノ枝ニ接セシメ活シテ後乙樹ノ枝本ヲ斷去ルヲ過貼ト

云フ 別ニ目ヲ立テス壓條ノ下ニ寓ス

一 形状木理毎樹之ヲ後ニ圖ス 觀者ヲシテ其形状何如木理何

如ヲ識別セシムルカ為ナリ之ヲ印刷スルニ至テハ其真面目ヲ

觀ルヲ能ハスト雖蓋亦思ヒ半ニ過キン

一 松柏以下最有用ナル者ヲ序列シテ既ニ百種ニ滿ツ乃初

編トナシテ之ヲ印刷ス形状性質ノ別培養保護ノ法ノ如キハ

必目擊實踐シテ後始メテ之ヲ詳カニスルヲ得ヘシ而シテ全

國樹木ノ夥多ナル豈數人ノ力數年ノ日子ヲ以テ之ヲ遍リス  
ルヲ得ンヤ是ヲ以テ未詳カナラサルモノハ姑ラク闕テ以テ  
他日ヲ俟ツ

明治十年十一月

一 ひのき、えのき、ノ類當ニヒト云ヒエト云フヘシ然レ氏稱呼ニ便  
ナラサルカ故ニ人皆のきの詞ヲ添フ今其便ニ從フ此類亦勘カ  
ラス



日本樹木誌初編

目録

|      |         |
|------|---------|
| 第一號  | いのき     |
| 第二號  | いば      |
| 第三號  | ねぞこ     |
| 第四號  | さいら     |
| 第五號  | いぶきびやきん |
| 第六號  | くろまろ    |
| 第七號  | ありまろ    |
| 第八號  | ぬどまろ    |
| 第九號  | いそこまろ   |
| 第十號  | まき      |
| 第十一號 | かきやまき   |



|       |                   |
|-------|-------------------|
| 芽十二蹄  | まぎ                |
| 芽十三蹄  | あらまぎ              |
| 芽十四蹄  | かや                |
| 芽十五蹄  | つが                |
| 芽十六蹄  | もみ                |
| 芽十七蹄  | いらもみ              |
| 芽十八蹄  | とらひ               |
| 芽十九蹄  | まらべ               |
| 芽二十蹄  | あらやうぞん            |
| 芽二十一蹄 | い <sup>ちや</sup> ら |
| 芽二十二蹄 | さいづるみ             |
| 芽二十三蹄 | あらか               |
| 芽二十四蹄 | あらか               |

|       |       |
|-------|-------|
| 芽二十五蹄 | うぐめか  |
| 芽二十六蹄 | あひのき  |
| 芽二十七蹄 | くら    |
| 芽二十八蹄 | くぬぎ   |
| 芽二十九蹄 | おほたら  |
| 芽三十蹄  | こたら   |
| 芽三十一蹄 | かたん   |
| 芽三十二蹄 | みぬも   |
| 芽三十三蹄 | はんまき  |
| 芽三十四蹄 | みぞめ   |
| 芽三十五蹄 | あらか   |
| 芽三十六蹄 | やまね   |
| 芽三十七蹄 | はこやまぎ |



|       |       |
|-------|-------|
| 芽三十八號 | ぬま    |
| 芽三十九號 | ゑで    |
| 芽四十號  | けやき   |
| 芽四十一號 | くらで   |
| 芽四十二號 | むくせき  |
| 芽四十三號 | えのき   |
| 芽四十四號 | たき    |
| 芽四十五號 | あからき  |
| 芽四十六號 | ゆづり   |
| 芽四十七號 | つげ    |
| 芽四十八號 | あろがし  |
| 芽四十九號 | くらせき  |
| 芽五十號  | やぬくけい |

|       |      |
|-------|------|
| 芽五十一號 | くらをド |
| 芽五十二號 | きり   |
| 芽五十三號 | ひらぎ  |
| 芽五十四號 | まほぢ  |
| 芽五十五號 | もちのき |
| 芽五十六號 | いぬつげ |
| 芽五十七號 | くらがき |
| 芽五十八號 | あやくな |
| 芽五十九號 | やえつご |
| 芽六十號  | 急ご   |
| 芽六十一號 | はりぎ  |
| 芽六十二號 | おんせ  |
| 芽六十三號 | いま   |



|       |       |
|-------|-------|
| 第六十四號 | な     |
| 第六十五號 | さくら   |
| 第六十六號 | うゑ    |
| 第六十七號 | らハ己ん  |
| 第六十八號 | ぢみ    |
| 第六十九號 | えんぢめ  |
| 第七十號  | きいかち  |
| 第七十一號 | ねむのき  |
| 第七十二號 | うゝ    |
| 第七十三號 | ちぢせ   |
| 第七十四號 | ぬるで   |
| 第七十五號 | けんかぢり |
| 第七十六號 | いぬまぢみ |

|       |       |
|-------|-------|
| 第七十七號 | きこぢ   |
| 第七十八號 | ぢぢぢ   |
| 第七十九號 | とち    |
| 第八十號  | かへで   |
| 第八十一號 | うぢぢぢ  |
| 第八十二號 | つぢぢ   |
| 第八十三號 | まるすぢり |
| 第八十四號 | えぢのき  |
| 第八十五號 | ぢぢぢぢ  |
| 第八十六號 | ほぢぢぢ  |
| 第八十七號 | こぶ    |
| 第八十八號 | かつら   |
| 第八十九號 | ぢぢらら  |



- 第九十蹄 志ゆる
- 第九十一蹄 まぶけ
- 第九十二蹄 はちく
- 第九十三蹄 もろくろくちく
- 第九十四蹄 ちんちく はちく質
- 第九十五蹄 ちんちく ちんちり質
- 第九十六蹄 ~~ちんちく~~
- 第九十七蹄 ちんちくちく
- 第九十八蹄 めぶけ
- 第九十九蹄 ちんちく
- 第一百號 ちんちく

**銀杏**

右稱呼和書藉之所見無之不テフ之名金、  
 中古俗稱ト愚考任和漢三才同會一葉  
 説隨レ以得ハ假字不テフ、奉存候  
 不テフハ工、反テニテ「不テフ」約畧  
 相違有之間鋪最早市抄出相成居存以同  
 和漢三才同會銀杏一名白菓鴨脚葉  
 書言字考銀杏一名白菓鴨脚葉見略物  
 合類常用下云元福年同棟鳥野田等

十 十 十

羅漢松 かやまき  
 金松 かやまき  
 杉 かやまき

鴨脚姓加茂社家ニ今連綿又杏葉ハ不テフ



杏葉、  
皇朝、  
馬具、  
外、  
家、  
毛、  
古、  
松、  
り、

第九十蹄 志のろ  
第九十一蹄 まぐけ  
第九十二蹄 はちく

葉、由何紫、皇文及洞津、谷川、士清、水、誤、  
得共是、全ク水草、和名抄、

杏葉

辨色立成云、杏葉、和名、俾良俗云、行、永、存、

相見、杏葉、之由、先哲、確論、有之、以得、共、愛、  
思、所、詮、而、系、知、之、通、是、迄、假、宗、語、格、筋、專、門、  
亦、強、不、仕、故、別、テ、疎、漏、拜、答、而、笑、捨、可、被、志、

中、之、

卯老先之

松多の家

松柏科

扁柏

ひのき

羅漢柏

ひそ

ぬき木

さいら

花柏

いぬきひやえ

檜柏

くろまつ

黒松

赤松

あかまつ

落葉松

あしな

ひめこまつ

羅漢松

あま

金松

かみやまき

杉

しのぎ

三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二

服部文庫  
117  
441

117 1894 (3)



三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三

水松 みづのまつ

榧 けい

つげ つげ

いらもぎ

とくしひ

まらべ

あしやうざん

公孫樹 こうそんじゆ

胡桃科

さいろみ

葉萐科

血楮 ちゆうこ

野楮 のこ

柯樹 かじゆ

栗 くり

榎 えん

おななら

こななら

榭 せ

みねぞえ

赤楊 あかやう

みぎえ

樺木 ひらき

柳 やなぎ

内務省



五五 五五 五五 五五 五五 五五 五五

三五 三五 三五 三五 三五 三五 三五

四七 四七 四七 四七 四七 四七 四七

白楊 しらやなぎ

山毛櫸 やまけり

志で

蕁麻科

櫸 けり

桑 くわ

糙葉樹 あざみ

朴樹 ぼく

榆 う

大戟科

罌子桐 えいしどう

交讓木 かうじょうぼく

黃楊 わうやう

楸 きゅう

樟科

樟 しょう

天竺桂 てんしゅけい

烏樟 くわしょう

玄參科

白桐 しろどう

狗骨科

狗骨 くわこつ

志かぢ

冬青科

冬青 ふゆあざみ

柞木 せきぼく

務省



柿樹科

くろがき カ 君遷子

石楠科

石楠 カ カ

やまほづゝ

齊整果科

齊整果 カ カ

五加科

刺楸 カ カ

ぶんぜつ

萬作科

蚊母樹 カ カ

薔薇科

カ カ

七五

七六

七七

七八

七九

八〇

八一

八二

八三

八四

八五

六四

六五

六六

六七

六八

六九

七〇

七一

七二

七三

七四

七五

七六

漆樹科

漆樹

たげ

塩膚木 カ カ

荳科

槐 カ カ

皂莢 カ カ

合歡 カ カ

梨

櫻

梅

榎櫃 カ カ

ぶら



七十五

鼠李科

枳椇

けんかき

七十六

衛矛科

桃葉衛矛

いんげん

七十七

秦椒科

黄蘗

きんぎょ

七十八

楝科

楝

りつら

七十九

魚患樹科

七葉樹

しちじ

八十

槭樹科

槭樹

あかじ

うじ

八十二

茶科

山茶

つばき

八十三

さろし

菩提樹科

志那のき

梧桐科

梧桐

あしき

木蘭科

浮爛羅勒

ほろろ

辛夷

しんい

かつら

木天蓼科

猕猴桃

きうり



九十

梭欄科

棕欄

ろくろ

禾本科

苦竹

くろけ

淡竹

たんけ

江南竹

くろけ

斑竹

淡竹質

たんけ

斑竹

たんけ質

紫竹

むらさきけ

方竹

かたけ

免ざけ

實竹付

實竹

まのちり

一百

九十九

九十八

九十七

九十六

九十五

九十四

九十三

九十二

九十一

竹類

竹類



上ノ附箋ハ此後正誤ニ出ス一キハ  
下ノ附箋ハ増刷ノ時補フ一キハ并疑点アルモノ

「さいら」がわら、假名麩が宜キヤ

サハラ

「あうやうざん」か「うやうざん」、假名麩レカ宜キヤ

和利坂 コウエフサン  
一名ウツシタモミ

「あんぜつ」 あんノ清濁の事

ゴキツ又ニゴキツ 方言ニ極度也

「あぐしけ」 しけノ清濁の事

タケ清考也 形容詞ニ因テ濁

譬ハ橋也 オホハシノ外皆濁多シ

洋名ニ大分疑点ありし不審紙販賣ノ仰出覺  
茅ノ四編カヤ 幹ノ條 田三尺許

右ハ稿中ニ三丈許トアリ三丈ニテハ大ニテタルニ似  
タリ三丈ニテハ小ニテタルニ似タリ 一二丈許トシテ

大分ニ似タリ 三丈ニ至ルリシテ也 余実見セザル 俗



一 二 三 四 五 六 七 八 九 十



佛國博覽會出品

地理局

竹木材目録

- 一 扁柏 十一 一 ヒメコマツ 十一 一 血楮 十一
- 一 花柏 十二 一 落葉松 十二 一 麩楮 十二
- 一 子バコ 十三 一 水松 十三 一 ウハメガシ 十三
- 一 羅漢柏 十四 一 ツガ 十四 一 樟 十四
- 一 檜柏 十五 一 樅 十五 一 石楠 十五
- 一 金松 十六 一 シラモミ 十六 一 柯樹 十六
- 一 榧 十七 一 トウヒ 十七 一 栗 十七
- 一 杉 十八 一 シラヒ 十八 一 大ナラ 十八
- 一 赤松 十九 一 樺 十九 一 小ナラ 十九
- 一 黒松 二十 一 山毛樺 二十 一 樺 二十

ハナ

一 市立一節 公孫樹 針葉と相違

梧桐 實ノ條 蕁葵 右ノ植學啓原ニ作リ植學淺解ニ蕁

西岸ニハ松科ノ同葉トシテ日本ノ 針葉トシテ松科トシテ見ユルニテ 針葉トシテ見ユルニテ 針葉トシテ見ユルニテ 針葉トシテ見ユルニテ

蕁葵ノ作ル 蕁葵ノ方ニキ様ニ見ユレトシテ非カ

服部文庫 117 1074



|          |         |         |
|----------|---------|---------|
| 一 蚊母樹    | 一 七葉樹   | 一 榆     |
| 一 梅      | 一 朴樹    | 一 アカシホ  |
| 一 尾柿     | 一 糙葉樹   | 一 白ヤシホ  |
| 一 槭樹     | 一 シホデ   | 一 齊整樹   |
| 一 ミ子バ    | 一 センノキ  | 一 棟     |
| 一 狗骨     | 一 カハクルミ | 一 サルスヘリ |
| 一 山茶     | 一 槐     | 一 漆樹    |
| 一 櫻      | 一 シナノキ  | 一 ハゼ    |
| 一 ミスメサクラ | 一 白桐    | 一 榎     |
| 一 樺木     | 一 羅漢松   | 一 冬青    |
| 一 桑      | 一 楸     | 一 柳     |
| 一 シ樟     | 一 浮爛羅勒  | 一 黄蘗    |
| 一 黄楊     | 一 白楊    | 一 罌子桐   |

桑 楸  
 浮爛羅勒  
 榎  
 柳  
 黄蘗  
 罌子桐

|        |        |        |
|--------|--------|--------|
| 一 梧桐   | 一 皂莢   | 一 ウリノ木 |
| 一 三桂   | 一 辛夷   | 一 ゴンゼツ |
| 一 柞木   | 一 枳椇   | 一 公孫樹  |
| 一 桃葉衛矛 | 一 ブミ   | 一 梨    |
| 一 合歡   | 一 エズリハ | 一 シデ   |
| 一 棕櫚   | 一 狝猴杣  | 一 カツラ  |
| 一 塩膚木  | 一 クハリン | 一 赤楊   |

合九拾種

小笠原島木材

|          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 一 ヤニアツサ  | 一 ハスノハギリ | 一 ハマボウ   |
| 一 シヤリンバイ | 一 チズミモチ  | 一 ヤブニクケイ |
| 一 ハマホウ   | 一 マテバガシ  |          |
| 一 ヤラボ    | 一 クワ     |          |

内務省



合拾種

一 苦竹

一 斑竹

ス、竹ニ斑紋ヲ成シモノ

一 人面竹

一 淡竹

一 紫竹

一 ス、ダケ

一 江南竹

一 方竹

一 メダケ

一 斑竹

淡竹ニ雲紋ヲ成シモノ

一 貫竹

一 寒竹

合拾貳種

總計百拾貳種



